






2013年度派遣 公共政策学教育部 交換留学募集要項

注:WB, ADB, IMFの奨学生においては交換留学プログラムは対象外となります。

協定校	 School of International and Public Affairs Columbia University コロンビア大学 国際公共政策大学院 (SIPA) http://www.sipa.columbia.edu/	 Lee Kuan Yew School of Public Policy シンガポール国立大学(NUS) リー・クアンユー公共政策大学院 (LKY-SPP) http://www.spp.nus.edu.sg/	 School of International Relations and Pacific Studies カリフォルニア大学サンディエゴ校 国際関係・環太平洋地域研究大学院 (IR/PS UCSD) http://irps.ucsd.edu/	 SciencesPo. パリ政治学院(シアンスポ) (Sciences Po.) http://sciences-po.eu/	 Hertie School of Governance ヘルティール・スクール・オブ・ガバナンス (HSoG) http://www.hertie-school.org/home.php?nav_id=363
所在地	アメリカ合衆国、ニューヨーク	シンガポール	アメリカ合衆国、カリフォルニア	フランス、パリ	ドイツ、ベルリン
募集期間	2012年11月7日正午まで(厳守)				
募集人数	1～2名	1～2名	1名	1～2名	1～2名
派遣期間 *派遣人数によって期間 が変わります	①2013年9月～2013年12月 2013 Fall Term ②2013年9月～2014年5月 Academic Year 2013-2014	①2013年8月～2013年12月 2013 Semester 1	①2013年9月～2013年12月 2013 Fall Quarter ②2013年9月～2014年3月 2013 Fall&Winter Quarters ③2013年9月～2014年6月 Academic Year 2013-2014	①2013年9月～2014年1月 2013 1st Semester ②2013年9月～2014年5月 2013 1st and 2nd Semester Academic Year 2013-2014	①2013年9月～2014年1月 2013 Fall Term
東大での身分	「留学」				
派遣先での身分	特別聴講学生(non-degree student)				
授業料	派遣先では不徴収。東大では授業料を納入。				
単位認定	東大で「留学」の場合は、単位認定申請により認められた場合は23単位を超えない範囲で認定。				
奨学金制度	1. 東京大学国際学術交流活動等奨励事業による奨励費 への申請可 2. 公共政策大学院国際化推進プログラム寄付金奨学制度 への申請可 3. 留学生交流支援制度(短期派遣)(JASSO) への申請可 **受給は審査合格者のみ				
応募資格	①東京大学公共政策学教育部正規課程に在籍する学生であること ②TOEFLスコア:iBT100点以上が望ましい。最低でもiBT90点以上は必須。 ③基礎的なミクロ経済・マクロ経済を履修済みの者。 ④GREの受験が望ましい。	①東京大学公共政策学教育部正規課程に在籍する学生であること ②TOEFLスコア:最低でもiBT90点以上は必須。 ③基礎的なミクロ経済学を履修済みの者。	①東京大学公共政策学教育部正規課程に在籍する学生であること ②TOEFLスコア:最低でもiBT90点以上。	①東京大学公共政策学教育部正規課程に在籍する学生であること ②TOEFLスコア:iBT90点以上。 ③職業経験のある学生は優先される。 ※ビザ申請の方法:フランス大使館領事部にてビザの申請をする前にCampus Franceにてオンライン申請が必要になります。オンライン申請後、キャンパスフランスのアカウント番号を国際企画チームご連絡ください。団体予約の申請を行うことが可能です。 www.japon.campusfrance.org	①東京大学公共政策学教育部正規課程に在籍する学生であること ②TOEFLスコア:iBT100点以上。最低でも、iBT 96点以上が必須。 ③職業経験のある学生は優先される。
応募書類 公共政策学教育部提出 用	①海外交換留学申請調書 ②TOEFL成績証明書(原本又は写し)*過去2年以内に受験したものに限る。 ③GraSPP側での面接合格者には、成績証明書(英文)の原本の提出を求めますので準備しておいてください。 ***各大学への提出書類は合格者に直接通知する。				

応募書類提出方法 提出先	<p>応募書類は電子データで提出してください。 電子データ提出先： e-mail: exchange@pp.u-tokyo.ac.jp 東京大学大学院公共政策学教育部 国際企画チーム 矢嶋 629号室</p>				
問い合わせ先	<p>問い合わせはE-mailにて受け付けます。 exchange@pp.u-tokyo.ac.jp (国際企画チーム 矢嶋)</p>				
スケジュール (予定は変更される場合があります)	<p>GraSPP募集締切:11月7日(水)正午 書類選考:11月中旬 GraSPP教員の面接:11月16日(金)(予定) GrasPP側の合格者決定:12月中旬 派遣先への書類送付:2月上旬</p>				
	<p>SIPAへの書類提出:2月上旬 SIPAより合格者決定:2月下旬 SIPAへのオンライン申請:2月下旬 ビザ手続き、その他準備:3~7月 出発:7月 (8月) 授業開始:9月4日(火) (オリエンテーション 8月末) ※ALP program: English for Professional Purposes: International and Public Affairs 英語集中コース:7月下旬より3週間程、受講することが求められる</p>	<p>LKY-SPPへの書類提出:2月上旬 (直接郵送) LKY-SPPより合格者決定:3月上旬~4月上旬 入学手続き書類提出:4月中旬 NUSへのオンライン申請:4月中旬 ビザ手続き、その他準備:3~7月 出発:8月上旬 オリエンテーション:8月上旬~ 授業開始:8月中旬</p>	<p>本部国際交流課への書類提出:12月中旬~下旬頃 IR/PSへのオンライン申請:1月上旬 IR/PSより合格者決定:7月上旬 IR/PSへの書類提出: ビザ手続き、その他準備:3~8月 出発:9月中旬 秋学期開始:9月4週目</p>	<p>シアンスポへのオンライン申請:3月~4月末 シアンスポへの書類提出:4月末 シアンスポより合格者決定:5月中旬 ビザ手続き、その他準備:3~8月 出発:8月中旬 オリエンテーション:8月末~ 授業開始:9月上旬</p> <p>(注:フランス学生ビザの申請に必要なため、住居の確保を5月末までにしておくことを強く勧めます。またビザの申請は6月中に済ませましょう。)</p>	<p>HSoGより合格者決定:2月下旬~3月上旬 HSoGへの書類提出:3月~ ビザ手続き、その他準備:3~8月 出発:8月中旬 オリエンテーション:8月末~ 授業開始:9月上旬</p>
注意	<p>派遣先大学への手続きは年度によって変更となることがありますので、最新の情報については派遣先大学からの連絡を注意して進めてください。</p>				

特色	コロンビア大学は、ニューヨーク市マンハッタン島にあることから、国際的ビジネス・国際金融センターに関連する分野、国際連合本部などを通じた国際開発分野などに、強みがあります。	LKY-SPPでは、東南アジア諸国からの留学生が多く学習しており、多くのアジア諸国の学生と肩を並べて学習できる利点があります。 ・アジアの近隣諸国に低価格の航空代金で簡単に移動できる強み	カリフォルニア大学で唯一、米国と太平洋地域(アジア)の関係に焦点をおいた国際関係学の専門職大学院です。創立わずか20年ながら、Foreign Policy誌では国際政治分野でトップ10にランクされました。カリキュラムは国際関係、公共政策、およびマネジメントの各分野から学際的に構成されています。	・フランス独自の制度、グランセコール(エリート養成のために国家が設置している高等教育研究機関)。9つあるシアンスポのうち、パリは一番古く、別格で、歴代フランス大統領などを数多く輩出してきました。即戦力となる幹部公務員や企業幹部の養成を目的としています。主にフランス語で行われる12専攻のほか、MPA、MBAの授業は英語のみで行われます。 英語のMPA(Master of Public Affairs)の授業を受ける場合(GraSPPからの派遣は主にMPAとMIA)は、職業経験のある学生、又はフランス語の知識のある学生を歓迎します。 ・ヨーロッパ圏内を比較的簡単に移動できる強み ・パリにはOECD本部があり、1年間留学する学生にはOECDでのインターンシップにチャレンジ出来る可能性がある。	ヘルティール財団の出資により2003年に開校したドイツでは初めての公共政策学の専門職学位課程です。2005年にはベルリン政府より高度な教育を施す機関として表彰を受けています。
参考HP	http://www.sipa.columbia.edu/	http://www.spp.nus.edu.sg/	http://irps.ucsd.edu/	http://sciences-po.eu/	http://www.hertie-school.org/
趣旨と前提条件	<p>①この交換留学制度は、東京大学大学院公共政策学教育部に在籍中の学生が対象です(来年度から入学が決まっている学生も応募することができます)。なお、この留学制度の趣旨は、英語を上達させるための語学留学ではなく、すでに基礎学力があり、英語も十分できる学生が、その語学力を生かして東京大学公共政策学教育部とは異なる環境で学習することです。その趣旨を十分ご理解の上、応募ください。おもな前提条件は、TOEFL iBTで100点、最低でもiBT 90点、大学によってはミクロ経済学、又はミクロ・マクロ経済学、最低基礎レベル(学部で学習済みでも可)を履修済みであることが条件となることもあります。それは、派遣先大学で一年時にミクロ経済学、又はミクロ・マクロ経済学の履修を義務付けているので、対等の基礎学力を前提とするためです。</p> <p>②こちらの基準をクリアしていても、スタートアップ講習等の補習が必要と派遣先大学が判断した場合には、補修を受けなければならない場合があります。その場合の費用は自己負担です。</p> <p>③派遣先大学への入学手続き、ビザの申請、宿舍の準備、留学保険の準備、単位認定の調査・申請等、留学に係るすべての手続き及び準備は自己の責任において行ってください。</p> <p>④留学のために発生する授業料以外の費用はすべて自己で負担していただきます。</p>				
留学中の身分と授業料	<p>この交換留学制度では、東京大学においては、「留学」という身分で、協定大学へ留学していただきます。 協定大学では学位を取らない特別身分の学生(特別聴講学生)となります。 留学期間中の授業料は東京大学へ支払い、留学先の大学へは授業料を支払いません。</p> <p>東京大学では、入学後に「休学」という身分で、他大学院へ留学すると、休学期間は授業料を免除されますが、その期間は在学年数に算入されず、留学先で履修した科目を帰国後に単位認定することはできません。</p>				
単位認定・振り替えについて	<p>本人の申請により、帰国後に協定大学において履修した科目を東京大学において単位認定する予定です。内容、授業時間、単位数等を東京大学の規則に則り認定の可否を審議しますので、すべての単位が認定されるわけではありません。修了要件を満たすためにしっかりとスケジュールを立て、取りたいクラスが決まった時点で東大で認定可能かどうかよく確認するようにしてください(事前認定制度のご利用をお勧めします)。</p>				
	留学して、単位互換のうえ、東京大学に戻り、東京大学公共政策学教育部での在学期間を2年間で終えるためには、次のようなモデルコースが考えられます。				

留学モデルコース	<p>留学期間は、最長1年間です。SIPAの授業期間は、おおそ、秋学期は、9月第1週より12月まで、春学期は、1月下旬から5月です。</p> <p>(A)二年生が、秋学期の半年間のみ留学。帰国後3月に卒業。(B)(学部時代に十分な経済学を学習して入学した)一年生が、秋学期より1年間留学、帰国後半年を経て卒業。</p> <p>なお、東京大学での在籍が2年間以上になっても構わないという場合には、(C)二年生の秋学期から一年間留学、という可能性もあります。</p> <p>日程については、下記URLを参照してください。</p>	<p>留学期間は、5ヶ月間です。LKY-SPPの授業期間は、おおそ、秋学期は8月第2週より12月までです。</p> <p>(A)二年生が、秋学期の半年間のみ留学。帰国後3月に卒業。</p> <p>(B)一年生が、秋学期より半年間留学、帰国後一年を経て卒業。</p> <p>日程については、下記URLを参照してください。</p>	<p>留学期間は、最長1年間です。IR-P Sの授業期間は、おおそ、秋学期は、9月第4週より12月まで、冬学期は、1月下旬から3月まで、春学期は3月下旬から6月です。</p> <p>(A)二年生が、秋学期の3ヶ月間のみ留学。帰国後3月に卒業。(B)一年生が、秋学期より3カ月間留学、帰国後一年半を経て卒業。(C)一年生が、秋学期より6カ月間留学、帰国後、翌年3月に卒業。</p> <p>なお、東京大学での在籍が2年間以上になっても構わないという場合には、(D)二年生の秋学期から一年間留学、という可能性もあります。</p> <p>日程については、下記URLを参照してください。</p>	<p>留学期間は、最長1年間です。シアンスポの授業期間は、おおそ、秋学期は、9月第一週より1月まで、春学期は、1月第2週から5月です。</p> <p>(A)二年生が、秋学期の半年間のみ留学。帰国後3月に卒業。(B)一年生が、秋学期より半年間留学、帰国後一年を経て卒業。(C)一年生が、秋学期より1年間留学、帰国後半年を経て卒業。</p> <p>なお、東京大学での在籍が2年間以上になっても構わないという場合には、(D)二年生の秋学期から一年間留学、という可能性もあります。</p> <p>日程については、下記URLを参照してください。</p>	<p>留学期間は、最長6カ月間です。HSoGの授業期間は、おおそ、秋学期は、9月第1週より12月中旬までです。</p> <p>(A)二年生が、秋学期の半年間留学。帰国後3月に卒業。(B)一年生が、秋学期より半年間留学、帰国後一年を経て卒業。</p> <p>日程については、下記URLを参照してください。</p>
費用	<p>前述のように、留学期間中の授業料は、東京大学に対して支払い、協定大学院では授業料免除の扱いを受けます。しかし、留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、留学生として当然かかる経費はすべて自己負担となります。生活費や住宅事情は留学先により大きく異なりますので、各自十分な時間の余裕をもってリサーチをしてください。</p>				
参考HP	<p>学生寮への申請はできますが、民間のアパートも含め、早めにリサーチをするようにしてください。</p> <p>Columbia University International Program and Services:</p>	<p>学生寮は、抽選制です。このほか、学生専用の寮(一軒家をシェアする)も大学の近くにあります。寮の費用は日本円でひと月約6～7万円です。</p>	<p>学生寮は抽選制です。キャンパス近辺のアパートを学生同士でシェアをする物件もあります。</p>	<p>シアンスポには学生寮がないので、自分で探さなければなりません。下記のサイトのハウジング情報から、早めにリサーチするようにしてください。特に、フランス学生ビザの申請には、住居証明が必要になりますので、5月頃には住居を確定していることをお勧めします。</p>	<p>HSoGには学生寮がないので、自分で探さなければなりません。下記のサイトのハウジング情報から、早めにリサーチするようにしてください。</p>
	<p>Columbia University International Program and Services: http://www.columbia.edu/cu/isso/</p>	<p>http://www.nus.edu.sg/osa/international/</p>	<p>http://housing.ucsd.edu/</p>	<p>http://www.international.sciences-po.fr/en/living-france</p>	<p>http://www.hertie-school.org/campus/student-services/housing/</p>